

2027年度

岡山大学大学院保健学研究科
(博士前期課程)

学生募集要項



岡山大学大学院保健学研究科

連絡先 岡山大学医療系事務部学務課教務グループ
保健学研究科担当
所在地 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
電話 (086) 235-7984

入学者選抜日程等概要

【博士前期課程 高度保健実践研究プログラム】

入試区分	教育研究分野	サブプログラム	募集人員
一般入試	看護学分野	看護学研究コース 助産学コース	14人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・高度実践研究コース	6人
	検査技術科学分野	臨床検査科学・高度実践研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療サイエンティスト育成コース	6人
社会人入試 外国人留学生特別入試	看護学分野	看護学研究コース	若干人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・高度実践研究コース	若干人
	検査技術科学分野	臨床検査科学・高度実践研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療サイエンティスト育成コース	若干人

語学力を証明する資料についての問い合わせ締切	2026年6月26日(金)
入学資格審査受付期間	2026年6月30日(火)～2026年7月3日(金)
入学資格審査結果通知発送	2026年7月10日(金)頃 (7月16日(木)までに到着していない場合、提出先に連絡ください)
障がい等のある方の出願相談締切	2026年6月26日(金)
出願受付期間	2026年7月17日(金)～2026年7月22日(水)
受験票発送	2026年7月30日(木)頃 (8月13日(木)までに到着していない場合、提出先に連絡ください)
試験日時	2026年8月22日(土)9:30～ (保健学科棟入館開始は9:10※ただし、口述試験のみの方は12:10)
合格者発表日時	2026年9月11日(金)10:00
入学手続期間	2026年9月24日(木)、9月25日(金)

特別警報や気象警報等により入学試験の実施を延期する、又は試験開始時刻を繰り下げる場合があるため、試験実施までの間、保健学研究科・医学部保健学科ホームページを確認してください。なお、試験を延期する場合は、2026年8月29日(土)を予備日とする予定です。

URL:<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

目 次

I	アドミッション・ポリシー	1
II	一般入試	2
III	社会人入試	5
IV	外国人留学生特別入試	9
V	各選抜共通事項	12
VI	サブプログラムと指導教員	17
VII	カリキュラム・ポリシー	18
VIII	ディグリー・ポリシー	27
*	入学検定料支払の流れ	29
*	鹿田キャンパス案内図	32

I アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【博士前期課程 高度保健実践研究プログラム】

＜求める人物像＞

保健学研究科博士前期課程は、以下に掲げた力を身につけた人材を国内外から広く求めます。

保健・医療および関連分野の基礎知識・技能に加えて豊かな人間性、優れた感性を持ち＜専門力・教養力＞、課題解決に挑む情熱と気概・知的探究心＜実践力・探究力・教養力＞、協調性と柔軟な発想＜コミュニケーション力・教養力＞で、人々の幸福・健康の推進活動への参画や研究の基礎能力向上を目指している人材、技能を高めて将来チームの中核として活動しようとする人材

[看護学研究コース]

[助産学コース]

[放射線技術科学・高度実践研究コース]

[臨床検査科学・高度実践研究コース]

[超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース)]

[ゲノム医療サイエンティスト育成コース]

各コースの求める力については以下の URL を参照ください。

https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/gs_overview/



＜選抜方針＞

幅広く多様な人材を確保するため、一般入試，社会人入試，外国人留学生特別入試といった複数の入試を実施します。

＜保健学研究科博士前期課程の選抜方法＞

筆記試験，口述試験，書類審査，実技などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本大学院での学修に足る語学力や適性など様々な要素を測ります。

＜選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方＞

- (1) 一般入試：広く大学院進学希望者を対象とした入試で、書類審査と学力試験等（筆記試験および口述試験：助産学コースは実技検査を含む）を課しています。書類審査では受験時までに習得した専門性などについて、複数の教員が多面的に確認します。筆記試験では、保健・医療分野の英語課題を用い、語学力のみならず、論理構造の理解力、日本語の表現力等を総合的に評価します。口述試験では、専門科目に関する知識、理解力やキャリアプランなどについて複数の教員が総合的に評価します。助産学コースの実技検査では、実技課題を課して、その適性を複数の教員が評価します。
- (2) 社会人入試：出願時に職を有し、入学後もその身分を継続する者を対象とした入試で、書類審査と学力試験等（筆記試験および口述試験）を課しています。書類審査では、受験時までに習得した専門性、キャリアプランなどについて、複数の教員が多面的に確認します。筆記試験では、保健・医療分野の英語課題を用い、語学力のみならず、論理構造の理解力、日本語の表現力等を総合的に評価します。口述試験では、専門科目に関する知識、理解力や社会人としてのキャリアプランなどについて複数の教員が総合的に評価します。
- (3) 外国人留学生特別入試：日本の国籍を有しない者を対象とした入試で、書類審査と口述試験を課しています。書類審査と口述試験では、受験時までに習得した語学力や専門性、キャリアプラン、就学の前提となる異文化適応状況などについて、複数の教員が多面的に評価します。

II 一般入試

1 募集人員

専攻	教育研究分野	サブプログラム	募集人員	備考
保健学専攻	看護学分野	看護学研究コース 助産学コース	14人	注)
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・高度実践研究コース	6人	
	検査技術科学分野	臨床検査科学・高度実践研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療サイエンティスト育成コース	6人	

注) 募集人員には、社会人・外国人留学生特別入試による若干人を含みます。また、看護学分野助産学コースの募集人員は8人程度です。

- 入学を志望する方は、出願前に、希望するサブプログラムの指導教員(17頁「サブプログラムと指導教員」参照)と連絡を取ってください。

2 出願資格

一般入試に出願できる者は、次のいずれかに該当する者又は2027年3月までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者(注)
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)又は専攻科(当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程(学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(平成17年文部科学省告示第169号)
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月までに22歳に達する者
- ⑩ 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認める者
- ⑪ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政

府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(注) 2の出願資格②に該当する見込みの者とは、次のとおりです。

- (1) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- (2) 学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

● 看護学分野サブプログラムの助産学コースを志望することのできる者は、①～⑩のいずれかに該当する出願資格を有し、かつ、看護師免許(取得見込みを含む。)を有する女子とします。

3 出願資格における個別の入学資格審査

2の「出願資格」⑧⑨⑩に該当する入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、12頁「V 各選抜共通事項 1 出願資格における個別の入学資格審査」により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、13頁「V 各選抜共通事項 2 障がい等のある方の出願」により相談してください。相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(4)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2026年7月17日(金)から2026年7月22日(水)まで

(注) 郵送とし、2026年7月22日(水)17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2026年7月21日(火)までの消印のあるものに限り受理します。

郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

なお、出願期間中の9時00分から17時00分までは、次の(3)の提出先への持参も認めます。

(3) 提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学医療系事務部学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話 (086) 235-7984

(4) 出願に必要な書類等

出願は、出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自でご用意ください。）に前述の出願書類提出用封筒宛名（様式M-6）に必要事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等		摘 要
① 入学願書（様式M-1）		本研究科所定の用紙
② 受験票、写真票（様式M-2）		本研究科所定の用紙
③ 成績証明書		出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの（なお、本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。） 短期大学又は専門学校を卒業後、大学を卒業した方は、短期大学又は専門学校の成績証明書と大学の成績証明書の両方を提出してください。
④ 最終学歴の卒業証明書（右のいずれか）	卒業（見込）証明書	出身学校長（学部長）が作成した卒業証明書又は卒業見込み証明書（専攻科等を最終学歴として出願する方は、学位授与（申請受理）証明書等を提出してください。）
	学位授与（申請受理）証明書等	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの
⑤ 研究（希望）計画書（様式M-3）		本研究科所定の用紙
⑥ 入学検定料		30,000円（手数料が別に必要です。） 入学検定料は、「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に、「検定料収納証明書」を印刷し、様式M-1「入学願書」の所定欄にのりで貼り付けてください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払い手続きが可能です。 【入学検定料の免除について】 本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、学部入試等において、入学検定料免除の措置を講じます。 詳細については、本学のホームページ（ https://www.okayama-u.ac.jp ）から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。
⑦ 受験票等送付用封筒		受験票等返信封筒（市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）を各自でご用意ください）に前述の受験票等送付用封筒宛名（様式M-7）に必要事項を記入し貼り付けて、460円分の切手を貼付してください。

<p>【日本国籍を有しない方のみ】</p> <p>⑧ 住民票</p>	<p>現に日本国内に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票（在留資格・在留期間が明示されたもの）を提出してください。</p> <p>出願時に日本国内に在住しない方は、受験のために有効な査証の写を提出してください。</p>
<p>【日本国籍を有しない方のみ】</p> <p>⑨ 語学力を証明する資料※</p>	<p>受入指導予定教員と相談し、2024年4月以降に受験した英語資格・検定試験（CEFR相当レベル）の成績証明書（写し）を提出してください。</p> <p>英語資格・検定試験の例： ケンブリッジ英語検定，実用英語技能検定（英検）1級－3級，GTEC，IELTS，TEAP，TOFEL，TOEIC，CET-4，CET-6等</p>
<p>【助産学コースを志願する方のみ】</p> <p>⑩ 看護師免許証（写）又は登録済証明書（写）</p>	<p>助産学コースを志願する者は、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証（写）を提出すること。<u>看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、速やかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出してください。</u>なお、看護師国家試験に不合格の場合は、合格発表の日に【問い合わせ先】へご連絡ください。</p>

※⑨ 語学力を証明する資料について

母国において主たる言語として英語を使用している方については、2026年6月26日（金）までに下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学医療系事務部学務課教務グループ

保健学研究科担当 （電話 086-235-7984）

III 社会人入試

● 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」について

社会人入試入学者に対しては、大学院での学習を容易とするために「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」があります。

参考

大学院設置基準第14条（昭和49年文部省令第28号抜粋）

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

ただし、本特例を受ける場合にあっても、本大学院において指定した講義等の日時の範囲内で受講が可能なこととします。

◎ 第14条適用希望者は、入学願書の第14条適用希望有無欄に○印で表記してください。

◎ 第14条適用者に対しては、6,7限目（18:30～21:40）の時間帯で開講することもあります。

◎ 授業によっては、集中講義（土曜日、日曜日を含む。）の授業もあります。

◎ 第14条適用者で、上記以外の授業形態を希望する場合は、指導教員と相談してください。

ただし、希望どおりの授業形態とはならない場合があります。この場合、修業期間は2年以上を要することがあります。

● 社会人の方で、企業等を退職し入学する方は一般入試で出願してください。

1 募集人員

専攻	教育研究分野	サブプログラム	募集人員
保健学専攻	看護学分野	看護学研究コース	若干人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・高度実践研究コース	若干人
	検査技術科学分野	臨床検査科学・高度実践研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療サイエンティスト育成コース	若干人

- 入学を志望する方は、出願前に、希望するサブプログラムの指導教員（17頁「サブプログラムと指導教員」参照）と連絡を取ってください。

2 出願資格

社会人入試に出願できる者は、出願時に職を有し、次のいずれかに該当（2027年3月までに該当する見込みの者を含む。）し、入学後も引き続き勤務を続ける者

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（注）
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第169号）
- ⑦ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑧ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月までに22歳に達する者
- ⑨ 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

（注） 2の出願資格②に該当する見込みの者とは、次のとおりです。

- （1）独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- （2）学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

3 出願資格における個別の入学資格審査

2の「出願資格」⑦⑧⑨に該当する入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、12頁「V 各選抜共通事項 1 出願資格における個別の入学資格

審査」により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、13頁「V 各選抜共通事項 2 障がい等のある方の出願」により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(4)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2026年7月17日(金)から2026年7月22日(水)まで

(注) 郵送とし、2026年7月22日(水)17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2026年7月21日(火)までの消印のあるものだけに限り受理します。

郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

なお、出願期間中の9時00分から17時00分までは、次の(3)の提出先への持参も認めます。

(3) 提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学医療系事務部学務課教務グループ
保健学研究科担当 電話 (086) 235-7984

(4) 出願に必要な書類等

出願は、出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自でご用意ください。)に前述の出願書類提出用封筒宛名(様式M-6)に必要な事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等	摘 要
① 入学願書(様式M-1)	本研究科所定の用紙
② 受験票、写真票(様式M-2)	本研究科所定の用紙
③ 成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの(なお、本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。)短期大学又は専門学校を卒業後、大学を卒業した方は、短期大学又は専門学校の成績証明書と大学の成績証明書の両方を提出してください。
④ 最終学歴の卒業証明書(右のいずれか)	卒業(見込)証明書 出身学校長(学部長)が作成した卒業証明書又は卒業見込み証明書(専攻科等を最終学歴として出願する方は学位授与(申請受理)証明書等を提出してください。)
	学位授与(申請受理)証明書等 大学改革支援・学位授与機構が作成したもの

⑤ 研究(希望)計画書(様式M-3)	本研究科所定の用紙
⑥ 研究業績等調書(様式M-4)	本研究科所定の用紙
⑦ 研究業績の概要	A4判で400字以内で様式は任意,若しくは専門領域で最新の業績等のコピー
⑧ 入学検定料	<p>30,000円(手数料が別に必要です。)</p> <p>入学検定料は、「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に、「検定料収納証明書」を印刷し、様式M-1「入学願書」の所定欄のりで貼り付けてください。出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払い手続きが可能です。</p> <p>【入学検定料の免除について】</p> <p>本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、学部入試等において、入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>詳細については、本学のホームページ(https://www.okayama-u.ac.jp)から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。</p>
⑨ 受験票等送付用封筒	受験票等返信封筒(市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)を各自でご用意ください)に前述の受験票等送付用封筒宛名(様式M-7)に必要事項を記入し貼り付けて、460円分の切手を貼付してください。
⑩ 受験許可書(様式M-5)	本研究科所定の用紙又は任意の様式
<p>【日本国籍を有しない方のみ】</p> <p>⑪ 住民票</p>	<p>現に日本国内に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票(在留資格・在留期間が明示されたもの)を提出してください。</p> <p>出願時に日本国内に在住しない方は、受験のために有効な査証の写を提出してください。</p>
<p>【日本国籍を有しない方のみ】</p> <p>⑫ 語学力を証明する資料※</p>	<p>受入指導予定教員と相談し、2024年4月以降に受験した英語資格・検定試験(CEFR相当レベル)の成績証明書(写し)を提出してください。</p> <p>英語資格・検定試験の例: ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定(英検)1級-3級, GTEC, IELTS, TEAP, TOFEL, TOEIC, CET-4, CET-6等</p>

※⑫ 語学力を証明する資料について

母国において主たる言語として英語を使用している方については、2026年6月26日(金)までに下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学医療系事務部学務課教務グループ

保健学研究科担当 (電話 086-235-7984)

IV 外国人留学生特別入試

1 募集人員

専攻	教育研究分野	サブプログラム	募集人員
保健学専攻	看護学分野	看護学研究コース	若干人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・高度実践研究コース	若干人
	検査技術科学分野	臨床検査科学・高度実践研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療サイエンティスト育成コース	若干人

- 入学を志望する方は、出願前に、希望するサブプログラムの指導教員（17頁「サブプログラムと指導教員」参照）と連絡を取ってください。

2 出願資格

外国人留学生特別入試に出願できる者は、日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者又は2027年3月までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月までに22歳に達する者
- ④ 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認める者

3 出願資格における個別の入学資格審査

2の「出願資格」③④に該当する入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、12頁「V 各選抜共通事項 1 出願資格における個別の入学資格審査」により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、13頁「V 各選抜共通事項 2 障がい等のある方の出願」により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(4)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2026年7月17日（金）から2026年7月22日（水）まで

(注) 郵送とし、2026年7月22日（水）17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2026年7月21日（火）までの消印のあるものに限り受理します。

郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

なお、出願期間中の9時00分から17時00分までは、次の(3)の提出先への持参も認めます。

(3) 提出先

<p>〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学医療系事務部学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話 (086) 235-7984</p>
--

(4) 出願に必要な書類等

出願は、出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自でご用意ください。)に前述の出願書類提出用封筒宛名(様式M-6)に必要な事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて、同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等	摘 要
① 入学願書(様式M-1)	本研究科所定の用紙
② 受験票, 写真票(様式M-2)	本研究科所定の用紙
③ 成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの(なお、本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。)短期大学又は専門学校を卒業後、大学を卒業した方は、短期大学又は専門学校の成績証明書と大学の成績証明書の両方を提出してください。
④ 卒業(見込)証明書	出身学校長(学部長)が作成した卒業証明書又は卒業見込み証明書
⑤ 研究(希望)計画書(様式M-3)	本研究科所定の用紙
⑥ 入学検定料	30,000円(手数料が別に必要です。)入学検定料は、「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に、「検定料収納証明書」を印刷し、様式M-1「入学願書」の所定欄にのりで貼り付けてください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払手続きが可能です。 【入学検定料の免除について】 本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、学部入試等において、入学検定料免除の措置を講じます。 詳細については、本学のホームページ(https://www.okayama-u.ac.jp)から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。
⑦ 受験票等送付用封筒	受験票等返信封筒(市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)を各自でご用意ください)に前述の受験票等送付用封筒宛名(様式M-7)に必要な事項を記入し貼り付けて、460円分の切手を貼付してください。
⑧ 住民票	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票(在留資格・在留期間が明示されたもの)を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のために有効な

	査証の写を提出してください。
⑨ 語学力を証明する資料※	受入指導予定教員と相談し、2024年4月以降に受験した英語資格・検定試験（CEFR相当レベル）の成績証明書（写し）を提出してください。 英語資格・検定試験の例： ケンブリッジ英語検定，実用英語技能検定（英検）1級－3級，GTEC，IELTS，TEAP，TOFEL，TOEIC，CET-4，CET-6等
⑩ 国費留学生証明書	国費留学生のみ提出してください。 当該者が在籍する大学での国費留学生である旨の大学長等の証明書

※⑨ 語学力を証明する資料について

母国において主たる言語として英語を使用している方については、2026年6月26日（金）までに下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学医療系事務部学務課教務グループ

保健学研究科担当 （電話 086-235-7984）

※⑩ 国費外国人留学生は、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。

V 各選抜共通事項

1 出願資格における個別の入学資格審査

受付期間	2026年6月30日(火)から2026年7月3日(金)17時00分まで (郵送による申請の場合も、上記受付期間内に必着とします。)
提出先及び 照会先	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学医療系事務部学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話(086)235-7984
提出書類	<p>【一般入試出願資格⑧⑩, 社会人入試出願資格⑦⑨, 外国人留学生特別入試出願資格④に該当する場合】</p> <p>(1) 入学試験出願資格認定申請書(本研究科所定用紙) (様式M-A)</p> <p>(2) 最終学歴(在学中の学校)の在学期間証明書</p> <p>(3) 最終学歴(在学中の学校)の成績証明書</p> <p>(4) 最終学歴の指導教授等による推薦書(様式任意)</p> <p>(5) 履修要覧(学生便覧)等</p> <p>(6) 長形3号封筒1枚(返信先住所等を記入し、速達料金460円分の切手を貼付したもの)</p> <p>【一般入試出願資格⑨, 社会人入試出願資格⑧, 外国人留学生特別入試出願資格③の場合】</p> <p>(1) 入学試験出願資格認定申請書(本研究科所定用紙) (様式M-A)</p> <p>(2) 最終学歴の卒業(修了)証明書</p> <p>(3) 最終学歴の成績証明書</p> <p>(4) 研究(希望)計画書(本研究科所定用紙)</p> <p>(5) 研究業績等調書(本研究科所定用紙)</p> <p>(6) 主要な論文, 研究発表等の写し</p> <p>(7) 長形3号封筒1枚(返信先住所等を記入し、速達料金460円分の切手を貼付したもの)</p>
認定方法	提出された書類により、本研究科において出願資格の有無を判断します。 なお、必要がある場合には、面接を行います。 (面接の日程等については、別途連絡します。)
審査結果の 通知	2026年7月13日(月)頃に、申請者あて郵送により通知します。 7月16日(木)までに到着していない場合、提出先に連絡ください。 なお、出願が認められた場合は、「出願に必要な書類等」を別途準備し、出願期間内に郵送してください。
認定基準	<p>【一般入試出願資格⑧, 社会人入試出願資格⑦の場合の認定基準】 大学に3年以上在学し、飛び級により大学院に入学した者が対象で、大学及び大学院において優秀な成績を修め、本学医学部保健学科卒業と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>【一般入試出願資格⑨, 社会人入試出願資格⑧, 外国人留学生特別入試出願資格③の場合の認定基準】 短期大学, 高等専門学校, 専修学校専門課程又は各種学校を修了し、又は外国において学校教育における14年の課程を修了した者が対象で、著書, 学術論文, 研究発表等により本学医学部保健学科卒業と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>【一般入試出願資格⑩, 社会人入試出願資格⑨, 外国人留学生特別入試出願資格④の場合の認定基準】 大学に3年以上在学し、飛び級により本研究科を受験する者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)が対象で、出願までに履修すべきすべての単位を優秀な成績で修得している者</p>

2 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	2026年6月26日(金)
相談方法	本研究科所定の「出願に伴う事前相談書」(様式M-B)に記入の上、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添付して相談してください。
書類提出先	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学医療系事務部学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話(086)235-7984
注意事項	相談の期限後に、受験上及び修学上の特別な配慮が必要になった方は、上記の書類の提出先に問い合わせてください。

3 出願上の注意事項

- (1) 入学願書の志望分野及び志望サブプログラムは必ず記入してください。
また、出願後の志望分野等の変更は認められません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更は認めません。
また、次の場合を除き、支払い済みの入学検定料の返還はしません。
ア 入学検定料を支払いましたが岡山大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
イ 入学検定料を誤って二重に支払いした場合
ウ 入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合
- (3) 出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあります。
また、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
- (4) 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新・旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式任意)を添付してください。
- (5) 出願書類等及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。
なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。
・入学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学課程・専攻・分野・サブプログラムコース等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。なお、入学者のうち、入学料免除及び入学料徴収猶予申請者、授業料免除申請者、独立行政法人日本学生支援機構奨学金申請者については、入学試験成績の個人情報を、それぞれの学力判定処理に利用することがあります。
・合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムで利用します。

4 受験票の交付

- (1) 受験票は、2026年7月30日(木)頃に本人あて発送します。
なお、8月13日(木)までに到着しない場合には、下記あて連絡してください。
岡山大学医療系事務部学務課教務グループ
保健学研究科担当 電話(086)235-7984
- (2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

5 受験上の注意事項

- (1) 試験前日の14時00分以降に、医学部保健学科棟玄関前に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室及び試験場本部を確かめておいてください。
ただし、試験場の建物内に入ってはいけません。
- (2) 受験に際しては、受験票を必ず持参してください。
- (3) 受験者は、試験開始20分前までに集合してください。
- (4) 遅刻時間が試験開始後30分を超えたときは、入室を許可しません。

6 入学者選抜の方法

筆記試験〔外国語(英語)〕、口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。看護学分野 助産学コースについては、実技を含みます。

(1) 試験日時及び試験場等

【一般入試(看護学分野 助産学コース以外)・社会人入試】

試験日	試験内容等		配点	時間	試験場
2026年 8月22日(土)	筆記試験	外国語(英語)(注)	100	9:30~11:00	医学部 保健学科棟
	口述試験		100	12:30~	

(注) 英和辞典(電子辞書は不可) 1冊の持ち込みが可能です。

【一般入試(看護学分野 助産学コース)】

試験日	試験内容等		配点	時間	試験場
2026年 8月22日(土)	筆記試験	外国語(英語)(注)	100	9:30~11:00	医学部 保健学科棟
	口述試験及び実技		200	12:30~	

(注) 英和辞典(電子辞書は不可) 1冊の持ち込みが可能です。

【外国人留学生特別入試】

試験日	試験内容等		配点	時間	試験場
2026年 8月22日(土)	口述試験		200	12:30~	医学部 保健学科棟

- 特別警報や気象警報等により入学試験の実施を延期する、又は試験開始時刻を繰り下げる場合があるため、試験実施までの間、保健学研究科・医学部保健学科ホームページを確認してください。なお、試験を延期する場合は、2026年8月29日(土)を予備日とする予定です。 <https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

(2) 分野・サブプログラム別試験内容等

【一般入試・社会人入試】

教育研究分野	サブプログラム	試験内容等		備考
		外国語 (英語)	口述試験	
看護学分野	看護学研究コース	分野共通	分野ごとに専門や研究の能力等について試問	注)
	助産学コース			
放射線技術科学分野	放射線技術科学・高度実践研究コース			
検査技術科学分野	臨床検査科学・高度実践研究コース			
	超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース)			
	ゲノム医療サイエンティスト育成コース			

注) 看護学分野の助産学コースは、外国語(英語)、口述試験及び実技で評価します。

【外国人留学生特別入試】

教育研究分野	サブプログラム	試験内容等	備考
		口述試験	
志望分野	志望サブプログラム	専門・研究能力及び語学力等について試問	

7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
2026年9月11日(金) 10時00分	医学部保健学科棟玄関前

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで、合格者には合格通知書を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格発表後、保健学研究科・医学部保健学科 HP にも合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は、2026年9月11日(金)から2026年9月18日(金)までとします。
<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>
- ③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

追加合格・追加募集について

入学手続の状況により、入試の受験者を対象として、「追加合格」により欠員補充を行うことがあります。

実施予定期間：2026年9月28日(月)、9月29日(火)

実施方法：入学願書に記載された現住所等へ「電話により」直接本人に連絡しますので、本研究科からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。

また、それでもなお入学手続完了者数が募集人員に満たなかった場合は、追加募集を行う場合があります。

8 入学手続等

- (1) 手続期間：2026年9月24日(木)、9月25日(金)

(入学手続書類等は、合格者に対して、出願時に提出された入学願書の住所に郵送します。)

- (2) 手続場所：岡山大学医療系事務部学務課教務グループ保健学研究科担当

(3) 手続時の必要経費 : 入学料 282,000 円【予定額】

(注) * 授業料の納入は入学後5月になります。

* 授業料(前半期分) 267,900 円(年額 535,800 円)【予定額】

入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

9 長期履修について

職業を有していることによる修学の困難さに対して、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる「長期履修制度」を導入しています。

10 入試情報の開示

(1) 開示対象者

2027年度入試の受験者

(2) 開示する内容

① 本人の試験成績(総得点)

② 合格者の成績情報(本人が受験した選抜の最高点、最低点及び平均点)

ただし、当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

(3) 開示請求方法

「入試情報開示請求書」(所定様式)に受験票を添えて、本人が(4)の開示請求受付期間中に、保健学研究科担当あてに提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は保健学研究科担当の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒(郵便番号・住所・氏名を明記し、110円分の切手を貼った長形3号封筒(縦23.5cm×横12cm))を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、保健学研究科担当あてに送付してください。

(4) 開示請求受付期間

2027年5月6日(木)～6月25日(金)まで 9時00分～17時00分(土・日曜日、祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

(5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示(発送)します。

ただし、2027年6月より前の請求については、6月以降の開示とします。

請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

11 標準修業年限及び学位

分野	標準修業年限	授与される学位
看護学分野	2年	修士(看護学)又は(保健学)
放射線技術科学分野	2年	修士(保健学)
検査技術科学分野	2年	修士(保健学)

12 修学支援

本学では、修学支援として、授業料免除(大学独自制度)及び奨学金(日本学生支援機構、大本育英会給与奨学金等)の制度を設けています。

募集内容等は岡山大学ホームページで最新情報を確認してください。

【URL】 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/index.html>

■ 大本育英会給付奨学金（博士後期課程（博士課程）進学希望者の方へ）

公益財団法人大本育英会では、岡山大学の博士後期課程（博士課程）の学生（日本国籍に限る）を対象として、年額180万円（予定）の給付型奨学金を設けています。支給期間は原則3年間で、博士前期課程（修士課程）1年次に予約採用の募集を行います。

大本育英会給付奨学金及びその他民間団体・地方公共団体の奨学金の募集内容については、岡山大学ホームページの「民間・地方公共団体の奨学金」で最新情報を確認してください。

【URL】 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a2-2.html

VI サブプログラムと指導教員

1. 看護学分野

サブプログラム	指導教員
看護学研究コース 助産学コース	相原 洋子 教授 大植 崇 教授 森 恵子 教授 森本 美智子 教授（2027年度から募集停止） 本家 淳子 准教授 大槻 奈緒子 准教授 岡本 亜紀 准教授 岡津 愛子 准教授 池田 智子 講師 梶原 右揮 助教 安川 純代 助教

2. 放射線技術科学分野

サブプログラム	指導教員
放射線技術科学・高度実践 研究コース	生口俊浩 教授 中村隆夫 教授 田辺悦章 教授 片岡隆浩 准教授 後藤佐知子 准教授 福井亮平 助教 浅原 孝 助教

3. 検査技術科学分野

サブプログラム	指導教員
臨床検査科学・高度実践 研究コース	佐藤康晴 教授 廣畑 聡 教授 宮原信明 教授 渡辺彰吾 教授 勝山恵理 准教授 後藤和義 准教授 西村 碧 フィリーズ 准教授 金谷 信彦 准教授 錦織亜沙美 助教
超音波検査士育成コース （博士前期・後期課程一貫 コース）	廣畑 聡 教授 渡辺彰吾 教授
ゲノム医療サイエンティスト 育成コース	佐藤康晴 教授 西村 碧 フィリーズ 准教授 錦織亜沙美 助教

VII カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【博士前期課程 高度保健実践研究プログラム】

本研究科保健学専攻の博士前期課程のディグリー・ポリシーを達成するために、サブプログラムごとに教育課程を編成しています。

[看護学研究コース]

共通・コア科目

区 分	授 業 科 目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップと SDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区 分	授 業 科 目	
看護学専門科目	看護学共通科目	看護教育論
		看護管理論
		看護理論
		看護倫理
		看護研究
		グローバル・プレゼンテーション1
		グローバル・プレゼンテーション2
		国際研究インターンシップ（前期）
		インターンシップ実践（前期）
		基礎看護学
	基礎看護学演習	
	看護評価学特論	
	看護評価学演習	
	基礎看護学特別研究	
	成育看護学	小児看護学特論Ⅰ
		小児看護学特論Ⅱ
		小児看護学演習Ⅰ
		小児看護学演習Ⅱ
		女性の健康援助特論
		女性の健康援助演習

看護学専門科目	臨床応用看護学	成育看護学特別研究
		成人看護学特論
		成人看護学演習
		緩和ケア特論
		緩和ケア演習
		臨床応用看護学特別研究
	コミュニティヘルス看護学	地域公衆衛生看護学特論
		地域公衆衛生看護学演習
		看護政策システム学特論
		看護政策システム学演習
		老年看護学特論
		老年看護学演習
		在宅看護学特論
		在宅看護学演習
		精神保健看護学特論
		精神保健看護学演習
		コミュニティヘルス看護学特別研究

[助産学コース]

共通・コア科目

区分	授業科目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップとSDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区分	授業科目	
看護学専門科目	看護学共通科目	看護教育論
		看護管理論
		看護理論
		看護倫理
		看護研究
		グローバル・プレゼンテーション1
		グローバル・プレゼンテーション2
		国際研究インターンシップ（前期）

看護学専門科目	専門研究領域科目	成育看護学特論
		成育看護学演習
		女性の健康援助特論
		女性の健康援助演習
		リプロダクティブ・ヘルスト論Ⅰ
		リプロダクティブ・ヘルスト論Ⅱ
		リプロダクティブ・ヘルス演習Ⅰ
		リプロダクティブ・ヘルス演習Ⅱ
		リプロダクティブ・ヘルス演習Ⅲ
		リプロダクティブ・ヘルスケア特論
		リプロダクティブ・ヘルスケア演習
		助産学特論
		生殖病態学特論
		乳幼児発達学特論
		助産診断・技術学特論Ⅰ
		助産診断・技術学特論Ⅱ
		助産診断・技術学特論Ⅲ
		助産技術学演習Ⅰ
		助産技術学演習Ⅱ
		助産技術学演習Ⅲ
		周産期ハイリスク特論
		地域母子保健特論
		地域母子保健演習
		助産管理学特論
		助産管理学演習
		助産学実習Ⅰ
		助産学実習Ⅱ
	成育看護学特別研究	
	専門研究領域以外の科目	看護評価学特論
		地域公衆衛生看護学特論
		看護政策システム学特論
		精神保健看護学特論

[放射線技術科学・高度実践研究コース]

共通・コア科目

区 分	授 業 科 目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップとSDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区 分	授 業 科 目	
放射線技術科学 専門科目	放射線技術科学 共通科目	グローバル・プレゼンテーション1
		グローバル・プレゼンテーション2
		国際研究インターンシップ（前期）
		インターンシップ実践（前期）
	医用情報理工学	医用物理学特論
		医用物理学演習
		生体情報計測学特論
		生体情報計測学演習
		医用画像解析学特論
		医用画像解析学演習
		医用情報理工学特別研究
	放射線健康支援科学	研究方法論応用
悪性腫瘍の管理と治療		
医療倫理と法律的経済的問題		
がんチーム医療実習		
医療情報学		
コミュニケーションスキル		
がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学		
がんの臨床検査・病理診断・放射線診断学		
臓器別がん治療各論		
がん緩和治療		
放射線治療品質管理学特論		

門 科 目	放射線治療品質管理学演習
	中性子医療学特論
	中性子医療学演習
	放射線生命科学特論
	放射線生命科学演習
	放射線治療技術学特論
	放射線治療技術学演習
	核医学検査技術学特論
	核医学検査技術学演習
	放射線健康科学特論
	放射線健康科学演習
	放射線健康支援科学特別研究

[臨床検査科学・高度実践研究コース]

共通・コア科目

区 分	授 業 科 目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップと SDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区 分	授 業 科 目
検査技術科学 専門科目	グローバル・プレゼンテーション1
	グローバル・プレゼンテーション2
	国際研究インターンシップ（前期）
	インターンシップ実践(前期)
検査技術科学 専門科目	病態情報科学
	高次機能解析学特論
	高次機能解析学演習
	ゲノム病理学特論
	ゲノム病理学演習
病原因子解析学特論	

		病原因子解析学演習
		感染制御学特論
		感染制御学演習
		病態情報解析科学特別研究
	生体情報科学	機能情報解析学特論
		機能情報解析学演習
		生体情報解析学特論
		生体情報解析学演習
		細胞・免疫科学特論
		細胞・免疫科学演習
		生体機能解析学特論
		生体機能解析学演習
		超音波画像計測学特論
		超音波画像計測学演習
		生体情報機能科学特別研究

[超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）]

【博士前期課程】
共通・コア科目

区 分	授 業 科 目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップと SDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区 分	授 業 科 目
検査技術科学 共通科目	グローバル・プレゼンテーション1
	グローバル・プレゼンテーション2
	国際研究インターンシップ（前期）
病態情報科学	高次機能解析学特論
	高次機能解析学演習

検査技術科学専門科目		ゲノム病理学特論
		ゲノム病理学演習
		病原因子解析学特論
		病原因子解析学演習
		感染制御学特論
		感染制御学演習
		病態情報解析科学特別研究
	生体情報科学	機能情報解析学特論
		機能情報解析学演習
		生体情報解析学特論
		生体情報解析学演習
		細胞・免疫科学特論
		細胞・免疫科学演習
		生体機能解析学特論
		生体機能解析学演習
		超音波画像計測学特論
		超音波画像計測学演習
		超音波画像計測学実習Ⅰ
		超音波画像計測学実習Ⅱ
	生体情報機能科学特別研究	

【博士後期課程】

コア科目

区分	授業科目
コア科目	学位プログラム概論
	インタープロフェッショナルワーク論
	Introduction course for health sciences

専門科目

区分	授業科目
検査技術科学 共通科目	グローバル・プレゼンテーション1
	グローバル・プレゼンテーション2
	国際研究インターンシップ（後期）
病態情報科学	組織・細胞情報学特講

科目		組織・細胞情報学演習
		感染症・病原因子解析学特講
		感染症・病原因子解析学演習
		病態情報科学特別研究
	生体情報科学	生体機能情報学特講
		生体機能情報学演習
		生体防御機能解析学特講
		生体防御機能解析学演習
		超音波画像計測学実習Ⅲ
		超音波画像計測学実習Ⅳ
		超音波画像計測学実習Ⅴ
		生体情報科学特別研究

[ゲノム医療サイエンティスト育成コース]

共通・コア科目

区分	授業科目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップとSDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区分	授業科目
検査技術科学 共通科目	グローバル・プレゼンテーション1
	グローバル・プレゼンテーション2
	国際研究インターンシップ（前期）
病態情報科学	高次機能解析学特論
	高次機能解析学演習
	ゲノム病理学特論
	ゲノム病理学演習
	分子細胞病理学実習Ⅰ

検査技術科学専門科目		分子細胞病理学実習Ⅱ
		病原因子解析学特論
		病原因子解析学演習
		感染制御学特論
		感染制御学演習
		病態情報解析科学特別研究
	生体情報科学	機能情報解析学特論
		機能情報解析学演習
		生体情報解析学特論
		生体情報解析学演習
		細胞・免疫科学特論
		細胞・免疫科学演習
		生体機能解析学特論
		生体機能解析学演習
		超音波画像計測学特論
		超音波画像計測学演習
		生体情報機能科学特別研究

各コースの詳細なカリキュラム・ポリシー（実施の方針）は以下のURLをご覧ください。

https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/gs_overview/



VIII ディグリー・ポリシー（学位授与の方針）

【博士前期課程 高度保健実践研究プログラム】

〔看護学研究コース〕

看護学研究コースは、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】 実践力全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、看護学の課題解決に導く実践力

【探究力】 研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に看護学の課題に迫る探究力

【コミュニケーション力】 保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力

【専門力】 看護学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力

【教養力】 幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力

〔助産学コース〕

助産学コースは、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】 全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、助産学の課題解決に導く実践力

【探究力】 研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に助産学の課題に迫る探究力

【コミュニケーション力】 保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力

【専門力】 助産学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力

【教養力】 幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力

〔放射線技術科学・高度実践研究コース〕

放射線技術科学・高度実践研究コースは、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】 全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、放射線技術科学の課題解決に導く実践力

【探究力】 研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に放射線技術科学の課題に迫る探究力

【コミュニケーション力】 保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力

【専門力】 放射線技術科学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力

【教養力】 幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力

〔臨床検査科学・高度実践研究コース〕

臨床検査科学・高度実践研究コースは、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

- 【実践力】 全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、臨床検査科学の課題解決に導く実践力
- 【探究力】 研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に臨床検査科学の課題に迫る探究力
- 【コミュニケーション力】 保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力
- 【専門力】 臨床検査科学の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力
- 【教養力】 幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力

[超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）]

超音波検査士育成コースは、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

- 【実践力】 全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、医用超音波診断の課題解決に導く実践力
- 【探究力】 研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的に医用超音波診断の課題に迫る探究力
- 【コミュニケーション力】 保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力
- 【専門力】 医用超音波診断の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力
- 【教養力】 幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力

[ゲノム医療サイエンティスト育成コース]

ゲノム医療サイエンティスト育成コースは、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

- 【実践力】 全人的かつ先進的な保健・医療のために、世界と繋がり、異なる価値を認め、ゲノム医療の課題解決に導く実践力
- 【探究力】 研究の基礎能力を持ち、論理的・複眼的にゲノム医療の課題に迫る探究力
- 【コミュニケーション力】 保健・医療チームの中核として広く協働できるコミュニケーション力
- 【専門力】 ゲノム医療の高度な知識と技術を統合し、保健・医療・福祉の向上に貢献できる専門力
- 【教養力】 幅広い学びから自らの知を深め、社会・環境の変化に柔軟に対応できる教養力

※ディグリー・ポリシーの詳細については以下の URL をご覧ください。

https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/gs_overview/



入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP 1
事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

STEP 2
入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP 3
個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究科等

②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェックを入ってください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。個人情報を確認する場合、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書(イメージ)

「支払済内容を確認・印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

受付番号(12桁)メモ
227484221761

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い方法

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、

FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

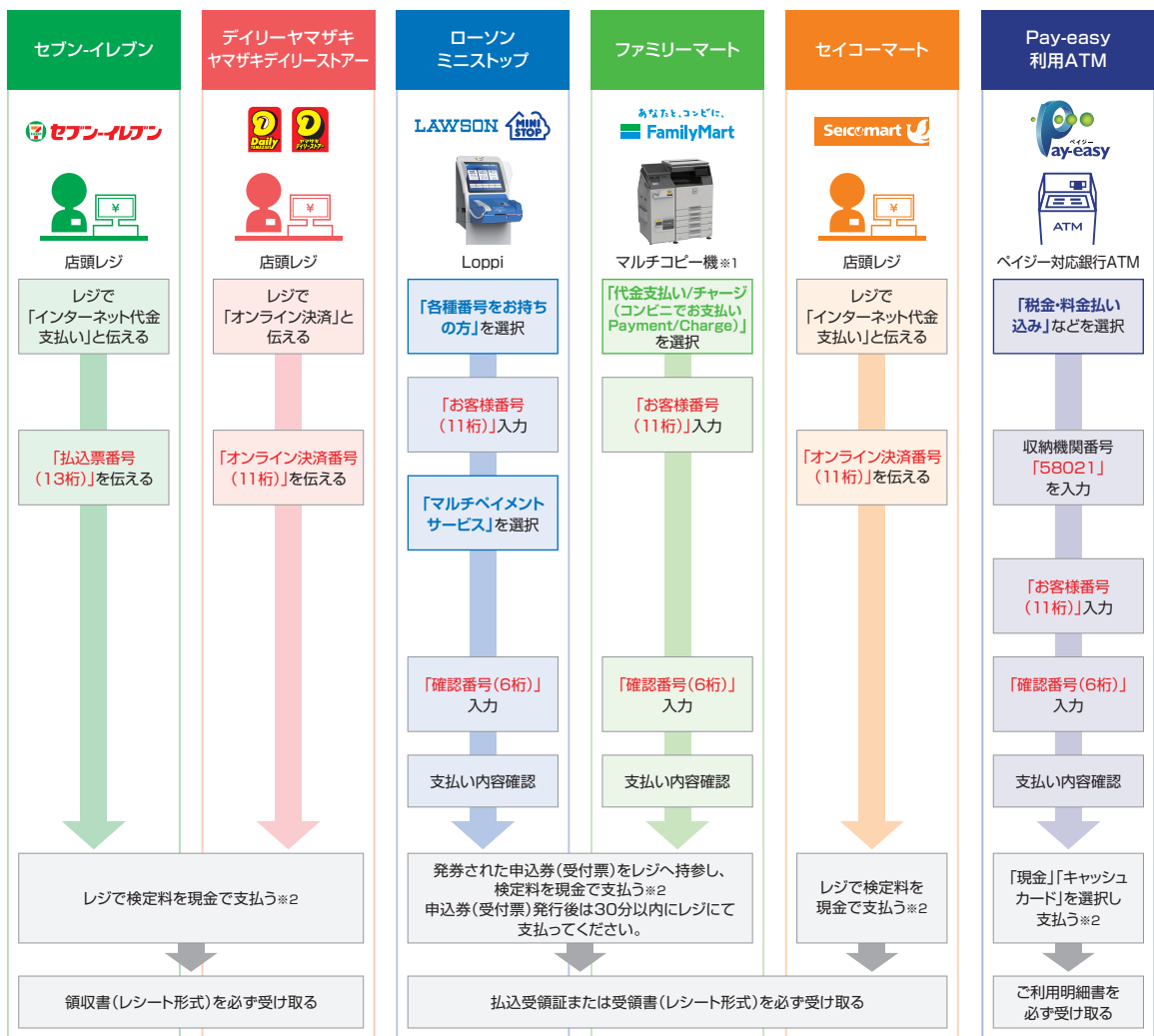
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※1:店舗によっては、マルチコピー機でなくfamiポートを利用する場合があります。

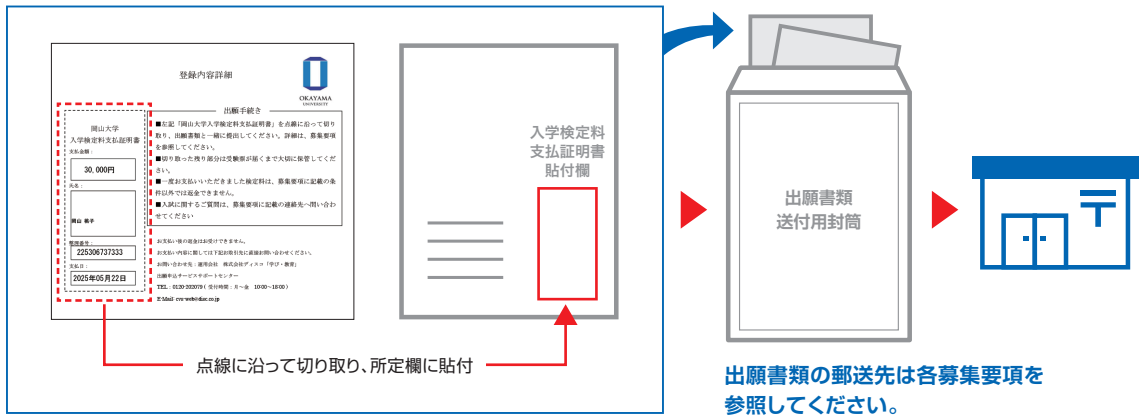
※2:ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ添付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



〈支払完了〉

出願時の 注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

鹿田キャンパス案内図



<試験場への経路>

- ① J R岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル4番のりばから岡電バス【2H】系統「大学病院」行きに乗車，「大学病院（構内）」で下車，又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車，「大学病院入口」で下車。（※バス所要時間約15分）
- ② J R岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル3番のりばから岡電バス【22】系統「岡山ろうさい病院」行き，【62】系統「岡南飛行場」行きのいずれかに乗車，「大学病院入口」で下車（※バス所要時間約15分）
- ③ J R岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル2番のりばから岡電バス【52】系統「大東」行きに乗車，「大学病院入口」で下車（※バス所要時間約15分）

※記載のバス所要時間は通常の交通状況での見込み時間です。試験当日は交通渋滞が予想されます。

注）岡山大学病院エリアの建物内（ピンク色の建物）への立入はお控えください。

募集要項，出願書類は，次のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

